

授業科目名	子ども家庭支援の心理学	担当教員名	池田 慎之介
必修/選択	必修	開講学年・学期	1年 後期 (年間開講数 2講座)
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	2単位 (30時間)
施行規則に定める科目区分等	保育の対象の理解に関する科目	授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	
授業の概要及び全体目標	子ども家庭支援の心理学では、発達心理学、教育心理学、及び臨床心理学の知見を踏まえて、生涯発達の観点から心身の発達について学ぶ。さらに、乳幼児期から高齢期に至るまでの心身の発達だけでなく、それを支える家庭、児童福祉施設等、地域や社会という環境の在り方について学ぶ。また、保育現場での事例も紹介し、子ども家庭を包括的に捉える視点の習得を図る。		
到達目標	(1)生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。 (2)家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。 (3)子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。 (4)子どもの精神保健とその課題について理解する。		
テキスト	授業内で適宜指示する。		
参考書・参考資料等	授業内で適宜指示する。		
成績評価の方法	・到達目標標準拠評価 ・授業参加姿勢：30% (コメントシート、ディスカッションへの参加等を含む) ・期末到達度確認テスト：70%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	本授業の目的と方法—教職課程における本授業の位置付け	(1)	
第2回	乳幼児期から学童期にかけての発達	(1)	
第3回	思春期から青年期の発達	(1)	
第4回	成人期から高齢期の発達	(1)	
第5回	家族システムと家族発達	(2)	
第6回	親としての養育スタイルの形成過程と世代間伝達	(2)	
第7回	子育て環境の社会状況的变化	(3)	
第8回	ライフコースとワーク・ライフ・バランス	(3)	
第9回	多様な子育て家庭への支援	(3)	
第10回	特別な配慮を必要とする家庭への支援	(4)	
第11回	子どもを取り巻く生活環境と心身の健康	(4)	
第12回	子どもの心と健康	(4)	
第13回	障害のある子どもの理解と対応	(4)	
第14回	災害と子ども	(3),(4)	
第15回	授業全体のまとめと重要ポイントのおさらい	(1),(2),(3),(4)	
定期試験	筆記試験		